

# チリ支援活動 帰国医師が報告

アムダ

大地震の被災地チリで支援活動が続けている国際医療NGO「AMDA（アムダ）」（本部・岡山市北区）は19日、一足先に帰国した津曲兼司医師が記者会見した。現地では、乳幼児がいる世帯を回りながらの健康診断や物資の配給を始めたことを報告した。

アムダは今月初旬から、チリ中部の漁村で支援活動を開始。津曲医師によると、中央政府が沿岸部の情報を収集しきれておらず、特に乳幼児向けの物資が不足しているという。軍が警備を行い、公立病院の医師や看護師と協力して健康診断を実施。

各世帯におむつや粉ミルク、栄養不足を補う薬剤などを配る。